



別府中学校で茶摘み体験

■4月22日、3年ぶりに全校生徒52名が農研機構果樹茶業研究部門で茶摘み体験を行いました。後日、茶葉はせん茶に加工され、生徒それぞれに届けられました。



ウミガメ上陸に備え 海岸を清掃

■5月14日、長浜海岸周辺の清掃作業が行われ、地元住民やボランティア約70名がウミガメが上陸する際に障害となるゴミなどを取り除きました。昨年は市全体で7頭が上陸しています。



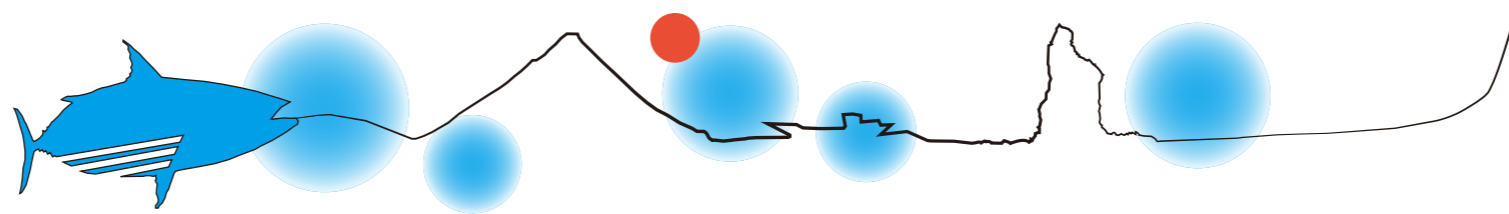
ホタルが幻想的な舞いで魅了

■5月中旬から花渡川周辺や中州川周辺、田布川集落のピオトープなどで、ホタルが幻想的な光の舞を見せていました。



尻無川で恒例の清掃活動を実施

■5月8日、木原公民館を中心とした「尻無川の自然環境を守る会」の主催で尻無川周辺の清掃活動が行われ、約70名が参加しました。



宇宙を旅した種、どんな花が咲く？ ～市内小学校で宇宙アサガオの種まき

元十島村教育長の日高幸男さんから市内小学校に、宇宙アサガオの種が贈られました。

この種は、2010年にスペースシャトル「ディスカバリー号」で飛び立った宇宙飛行士の山崎直子さんが宇宙に持って行った種です。宇宙空間での無重力状態や宇宙放射線の影響による突然変異などの調査のため、何年も大切に育てられてきました。今回贈られた種は、その子孫で12代目になります。これまでに育てられた宇宙アサガオの中には、つるが伸びずに花が咲いたり、星の形の花が咲いたりした例もあるそうです。

桜山小学校では、1年生が宇宙アサガオの苗を植えました。



収穫が楽しみ♪ ～立神海の風こども園で毎年恒例の芋の苗植え体験

5月14日、立神海の風こども園で毎年恒例の「芋の苗植え体験」が行われました。年少から年長までの68名の園児とその保護者が参加し、芋植え棒を使って紅さつまや紅はるかの苗を次々に植えていきました。

年中組の田上寺人くんは「お芋ができたらかレーに入れて食べたい」と話してくれました。

立神海の風こども園では、昔は保護者でもあった地元の農家さんが指導していましたが、今では職員がその技術を引き継ぎ、畑の運営にあたっています。基腐病の影響が心配されますが、今回植えた苗は、10月頃に親子で収穫し、給食や焼き芋にして食べる予定です。



劇団風の子九州がやってきた！ ～子ども芸術祭典でお芝居鑑賞

5月4日、立神海の風こども園で鹿児島県子ども芸術祭典が開催されました。

子どもたちの芸術鑑賞・体験活動を企画する加世田子ども劇場が主催し、福岡を拠点に活動する劇団風の子九州によるプロのお芝居で、アジアの国々に伝わるゆかいなお話や遊び、楽器や衣装を題材に、3人の役者が代わる代わる様々なキャラクターを演じる姿に会場した子どもたちは見入っていました。

お芝居を見た桜山小学校6年生の山神安寿花さんは「初めて見ました。いろいろな国の遊びやお話を知れてよかったです」と話してくれました。



生徒会主催による交流戦を開催 ～枕崎高校と鹿児島水産高校が学校間交流

4月28日、塩浜運動場およびスコアボード等を新たにした市営野球場において、枕崎高校と鹿児島水産高校による学校間交流が行われました。

昨年に続き両校の生徒会が主催し2回目となった今回は、野球部の交流戦に加え、枕崎にまつわるクイズ大会や、野球場外野ステージでダイナミックな書道パフォーマンスをスコアボードの大画面に投影するなど、生徒全員で盛り上がり交流を深めました。

枕崎高校生徒会長の草野優人さんは、「市内2校の交流で枕崎を盛り上げたい。今後は高校だけでなく中学校や地域も巻き込んで活性化につながっていければうれしい」と話しました。

野球部の交流戦は、両校の投手の好投による接戦で、9回裏に枕崎高校が決勝点を挙げ、3対2で鹿児島水産高校に勝利しました。



釣って、削って、食べて、遊んで！ ～お魚センターでかつおフェスタを開催

5月3日から5日の3日間、お魚センターでかつおフェスタが開催されました。

3日には、枕崎市漁業協同組合の主催でかつお祭り名物イベントの縮小版(プチ)一本釣り体験、4日にはロータリークラブと関係者による漁師鍋の無料ふるまい、4日・5日には観光協会などによるかつお節削り大会が行われました。

好天に恵まれたゴールデンウィークは、お魚センター内各店舗での特売もあり、子ども連れや観光客で大いに賑わっていました。